

Press Release

No. 13/2006

degussa ジャパン株式会社
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F
〒163-0938

T +81-3-5323-7300
F +81-3-5323-7399

www.degussa.co.jp

2006年5月12日

degussa 2006年 第1四半期業績発表

- 販売量の増加と販売価格の上昇効果
- 売上高とEBIT (金利・税引き前利益)は堅実な伸びを見せる
- グループ全体の純利益は前年比大幅増
- 2006年度展望:売上高とEBIT前年比増の見通し

Contact:
館崎 あゆみ

コミュニケーションズ

T +81-3-5323-7391
F +81-3-5323-7399

ayumi.tatezaki@
degussa.com

degussa(本社:ドイツ、デュッセルドルフ)のウツ ヘルムート・フェルヒト取締役会長は、5月9日に発表された第1四半期業績について「degussaは2006年度、良いスタートを切ることができました。需要の拡大、生産能力の効率化、また販売価格の値上げにより、収益は大幅に増大しました」と述べました。

売上高 21%増

2006年の第1四半期売上高は、前年同期比 21%増の 27 億 4,100 万ユーロ (2005年第1四半期:22 億 6,800 万ユーロ)となりました。このうち 8%は販売価格の上昇、7%は販売量の増加によるものです。また、3%は2005年6月1日に米国企業 CYRO を完全子会社化し、連結対象に組み入れたことによるもので、残りの 3%は為替変動が有利に働いたことによります。

EBIT 26%増

2006年第1四半期の EBIT(金利・税引き前利益)は、前年同期比 26%増の 2 億 1,900 万ユーロ(2005年第1四半期:1 億 7,400 万ユーロ)となりました。しかし、収益は原料コストとエネルギーコストの度重なる上昇による悪影響を受け、第1四半期の内部原料コスト指標は前年同期比 19%増となり、エネルギーコストは約 30%増となりました。

グループ純利益前年比大幅増

2006年第1四半期の税引き後グループ純利益は、前年同期の 7,200 万ユーロから 5,700 万ユーロの増加となり、1 億 2,900 万ユーロとなりました。その結果、1 株当たり利益も 0.63 ユーロと改善しました(2005年第1四半期:0.35 ユーロ)。

2006 年度展望:売上高と EBIT 前年比増の見通し

degussaは、業績好調が続くと予想しています。しかし今後も原料コストとエネルギーコストの上昇により、利益が削減される可能性もあります。degussaは製品価格の調整とさらなるコスト削減によって、この問題に対応していきたいと考えています。フェルヒト会長は「最終的には、2006 年度の売上高と EBIT は前年より改善すると報告できるでしょう。ただしこの四半期ほどの高い成長率を通年で保つことは難しいでしょう」と話しています。

degussaはグローバルに展開している世界有数のスペシャリティケミカル企業です。現在、degussa AG と世界のdegussa グループの総従業員数は約 44,000 人です。2005 年度の年間総売上は 118 億ユーロで、税・利息控除前利益(EBIT)は 9 億 4,000 万ユーロを計上しました。degussaは革新的な製品とシステムソリューションを提供することで、ビジネスの成功には欠かせない貴重な役割を担っています。「クリエイティング・エッセンシャル」-本質を創造する-それが私達degussaの仕事です。